紹介文

間接照明やランプ、シーリングライトなど、自作すればかなり安くできると思ったので、ホームセンターで部品を買い実験的に接続しました。その手順を紹介しています。

すごく簡単で500円もあれば作れてしまいます（シェード以外）

手順１

近所のホームセンターで購入した3品。コードが2mで140円くらい。コンセントのプラグは100円でソケットは245円だった。たぶんホームセンターならこの手の商品はだいたい置いてあると思う。500円もだせば必要なものが揃うので嬉しい。

ソケットの口金のサイズはE26。一番普及しているサイズのものだと思う。

手順２

裂いたコードの半分くらいの被覆をカッターを使って剥く。そして電線をねじる

手順３

プラグをプラスドライバーを使って開けると中身はこんな感じ。

手順４

プラグの中のネジ2つを外し、それに電線を時計回りに巻きつけてからネジを締める。ポイントは

* コードを引っ張っても抜けないくらいしっかりと締める。
* となりの電線に触れない様にとりつける。
* 電線が余ってしまった場合はハサミ等で切る。

手順５

ソケットの中身はこんな感じでプラグと同じ。

手順６

プラグと同じ方法で、ソケットに電線を取り付ける。

ステレオの赤白ケーブルみたいに左右でつける方向が決まっているのだろうかと疑問だったけれど、気にしなくて良い様だ。とにかく繋げてしまえば良いだけらしい。

手順７

これで完成。電気の配線に苦手意識があったけれどやってみたらすごく簡単だし楽しかった。繋げるだけで良い、ということがわかった。シーリングライトもきっと同じ様な仕組みだろう。

ちなみに今回ホームセンターで購入したソケットはオンオフスイッチが付いたもの。ソケット自体は立たないので間接照明というよりはシーリングライトとして天井からぶら下げるタイプのものだろう。もちろんLEDの電球も使用できる。

手順８

試しにペンダントライト的にぶら下げてみました。

さみしかったので試しに針金でランプのシェード？的なものも作ってみた。でも針金は鉄筋用の太いもので扱いにくいし、まともなニッパーもなかったので作業は困難だった。そして何も考えずに作ったのでひどいクオリティで終わった。

本当は針金の外に布か和紙なんかを巻いて様子を見るつもりだったけれど、面倒で針金の骨を4本しか作らなかったのでどうにもならなかった。せめて8本は必要だった様に思う。

手順９

針金のシェードのクオリティがひどかったので、リベンジでダンボールを使いシェードを作った。いずれにせよ貧乏臭い仕上がりになってしまったけれど、出来る限りの努力はしたと思う。